

2019 年度学生要望書

『2019 年度学生要望書』は、りんくうキャンパス生を対象に 2019/10/28～11/11、中百舌鳥キャンパス生を対象に 2019/11/11～11/26 に実施したアンケートの結果をもとに作成し、2019 年度後期自治委員会総会で可決されたものを 2020/2/10 に大学に提出しました。その後、2020/9/9 をもって大学からの回答がありました。

要望とその回答の概要は以下の通りです。

I. 休講に対しての規約・対応に関する要望

1. 休講に関する規約を改善すること

要望

災害時の休講の判断時刻は、午前の授業は午前 7 時、午後の授業は午前 11 時時点で、授業開始時刻の約 2 時間前となっています。そのため、遠方から本学に登校する学生が、休講の有無が判断される前に家を出なければならないという状況も存在します。

また、過去の災害時には JR 西日本や阪急電鉄、阪神電鉄などが運休となったにも関わらず、南海高野線、御堂筋線が運行しているために休講とならなかったことがあり、学生に登校する必要がありました。

そのため、当自治会は「①休講情報は授業ごとではなく、学長名で本学全体に発表する」「②休講の判断時刻を午前の授業は午前 6 時半、午後の授業は午前 9 時半に繰り上げる」「③JR 神戸線・京都線や私鉄の運休を判断基準に追加する」ことを要望しました。

回答

①各キャンパスで公共交通機関の運行状況や警報の有無が異なることから、キャンパスごとに判断しています。授業ごとでの判断は行っていません。

②交通機関の運休の発表が遅れることがあること、できるだけ大学での活動を提供したいことから現行の時刻としています。なお、警報の解除が見込まれない場合は判断時刻の前に休講の判断をしています。

また、遠方の学生にはその地域の交通事情や警報による欠席を認めています。欠席時は授業担当教員へ欠席届を提出してください。

③授業担当教員への欠席届の提出で対応していますので、判断基準の変更は行いません。

2.休講発表周知状況を改善すること

要望

現状、休講情報はポータルのみで発信されており、Twitter にはポータルの URL のみが投稿されています。このために迅速に情報を伝えられず、誤情報が拡散される可能性があります。

そのため、「①学生課による Twitter の運営」「②全学休講情報は、学長の名で遅れることなく発信」「③メールでの発信」「④ログイン不要な大学ホームページでの発信」を要望しました。

回答

- ①Twitter にはポータルの URL を投稿しているため、情報の確認は可能と認識しています。
- ②交通機関の運休発表が遅れることや、交通機関の公式ウェブサイトへのアクセスが集中し確認ができないことがあるため遅れることがあります。
- ③古い情報が周知されてしまう可能性があるため、内容そのものの発信はポータルに制限しています。そのため、ポータルの URL をメールで送信することを検討します。
- ④大学ホームページは学外への情報発信機関であり、またログイン認証を経ていないため改ざんの恐れがあります。そのため、ホームページの更新は学外からはできず、要員も限定しています。よって、学外からの更新が可能なポータルのみで情報を発信しています。

II.自転車使用に関する要望

1.自転車利用環境を改善すること

要望

学生会館・食堂の周辺に設置されているノー自転車ゾーンは、自転車の走行（8～20時）と駐輪（終日）を禁止することで歩行者の安全を守る規制です。しかし、歩行者の少ない18～20時における走行規制は解除するべきであると当自治会は考えています。

また、教室等の近辺に駐輪場がないなど、駐輪環境が不便だという意見もありました。

そのため、「①ノー自転車ゾーンにおける走行禁止規制の終了時刻を20時から18時に繰り上げること」「②校舎付近・本学入り口付近の駐輪場の拡大と整備」を要望しました。

回答

①ノー自転車ゾーンの規制緩和については、規制を守らない自転車利用者がおり、現時点では安全が確保されていないため時期尚早と考えています。

②駐車場の拡充は利用状況を鑑みたく、施設担当と協力して進めていきます。また、文化部室棟付近に駐輪場の整備を計画しています。ただし建物の近辺に消防車の停車スペースを確保する必要があるために駐輪場の設置が難しい箇所も存在します。

2.管理を厳正化すること

要望

ノー自転車ゾーンのルールを守らず学生会館や生協売店前に駐輪する学生が見受けられます。また、要望書アンケートによるとそもそもノー自転車ゾーンの詳細を知らない学生が一定数いました。

そのため、「①入学オリエンテーション等での自転車使用規定の周知の徹底」「②規定違反者の取り締まり強化」を要望しました。

回答

①入学オリエンテーションでの周知は行っています。規制の周知のため、自転車登録の際に注意書きを配布します。

②ノー自転車ゾーンの目的は違反者を取り締まることではなく、ゾーン内を通過する人の安全と安心を守ることです。自転車利用者が自発的に安全意識を持つよう、啓発を行っています。

III.情報設備に関する要望

1.Wi-Fi 設備を改善すること

要望

学生が利用できる学内 Wi-Fi には「OPU-Learning」と「OPU-Student」がありますが、このうち事前登録や機種制限なく利用できる OPU-Learning では、アクセスできるページが限られています。一方、多くの他大学では学内 Wi-Fi を学生が自由に使用できます。

また、場所によっては携帯電話の通信状況が悪く不便です。

そのため、「①OPU-Learning で本学のホームページ・関連ページ・授業時間内に使うページにアクセスできるようにする」「②課外活動棟に Wi-Fi を設置する」「③ラーニングcommons、シュライクなどに携帯でもアクセスできる Wi-Fi を設置する」ことを要望しました。

回答

①OPU-Studentは適切なセキュリティ対策を行っているパソコンにのみ接続を許可しています。一方 OPU-Learning は利用可能なシステムを絞ることでスマートフォンなどからもアクセスできるようにしています。

②③Wi-Fiは教育用として教室・講義棟に優先して配備しています。また、夏季休暇中の機器更新時に若干の機器の追加を行いました。なお、耐震構造上、壁が厚いために電波が通りにくい部屋があります。

市大との統合時に提供する Wi-Fi 環境は協議中で、キャンパス間で提供サービスの差がないように検討を行っています。

2.ノートパソコン設備を改善すること

要望

図書館などで貸し出されるノートパソコンについて、台数が足りない、OSがWindows7で古い、学術情報センターと同じソフトがインストールされておらず授業課題ができないなどの意見が寄せられています。

そのため、「ノートパソコンを Windows10 のもの買い替える」「買い替え時に十分なスペックのものにする」ことを要望しました。

回答

2020年1月15日からWindows10内蔵の端末に入れ替え、スペックも見直しました。

IV.食環境に関する要望

要望

りんくうキャンパスの食堂は夜の営業がなく、また周囲の飲食店はキャンパスから離れているため下宿生にとって夕食に不便です。

また、食堂のメニューも中百舌鳥キャンパスに比べて少なく、格差が生じています。

そのため、「本学の運営予算からりんくうキャンパスの食堂運営補助金を出す」ことを前提としたうえで、「昼のメニューを中百舌鳥キャンパスと同等の質とする」「夕方の営業を行う」ことを要望しました。

回答

衣食住の福利厚生に格差が生じていることは大きな問題であると認識しています。

大学内の各課、りんくうキャンパス事務所、生協との協力・検討や食堂の利用状況の調査が必要であるため早急な実現は難しいですが、大学統合に向け検討を行います。

V.キャンパス間バス運行に関する要望

要望

中百舌鳥キャンパスと羽曳野キャンパスを結ぶバスは存在しますが、りんくうキャンパスにはバスが存在しません。そのため、「中百舌鳥・りんくうキャンパス間のバスの設置」を要望しました。

回答

講義への出席に必要となるバス運行について、経済性および合理性について検討しましたが、運行は困難です。なお、1年後期のりんくうキャンパスでの講義と副専攻への出席については、自宅からの交通費を助成しています。